

市町村名	伊是名村							
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	1-①	観光地等クリーンアップ事業			新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章－1－(1)－ウ		
担当部課名	商工観光課	事業実施(予定)年度	平成24～令和13年度		沖縄振興基本方針該当箇所	イ 観光の振興に資する事業等		
事業内容	本村に数多く点在する史跡や文化財を地域資源として活用していくため、村内の各種イベントで使用する会場や観光施設、観光ルート等の草刈り作業や花壇等の環境整備を行い、花木等の植栽など美化活動を行う。							
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)							
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他 ()							
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」＋「市町村負担」ベース)			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	51,220	55,518	55,000	50,235	50,042	
		(b) 予算現額	41,470	41,100	34,476	39,353	55,778	
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 9,750	▲ 14,418	▲ 20,524	▲ 10,882	5,736	
		(d) 繰越額	0	0	0	0	0	
		A. 計 (b+d)	41,470	41,100	34,476	39,353	55,778	
	B. 執行済額		39,329	39,791	32,351	37,579	51,573	
	うち交付金充当額		31,463	31,833	25,881	30,063	41,258	
	次年度繰越額		0	0	0	0	0	
	執行率 (%) (B/A)		94.8%	96.8%	93.8%	95.5%	92.5%	
予算の状況の説明		年度途中に人事勧告に伴う会計年度任用職員の遡及があり、変更にて増額したが、結果的に悪天候による作業中止で、作業時間減に伴い、報酬も減額となった。						
活動目標(指標)及び達成状況	R6活動目標(指標)			達成状況				
				R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	花木の植栽及び肥培管理:16ヶ所 緑化除草作業及び海浜清掃:16ヶ所	目 標	(実施)	(実施)	(実施)	(実施)		
		実 績	実施	実施	実施	実施		
		目 標	()	()	()	()		
		実 績						
達成状況説明	・草刈り機等の機材を使用したA班が担当した作業エリアについては、リーダーを中心に滞りなく作業が実施できた。夏場については熱中症対策としてクールネックを購入し、首回りの冷却を行い、水分補給や休憩を随時入れながら作業を実施した結果、熱中症の被害を防止できた。 ・観光ルート等の花壇の草取り、花木の植栽及び肥培管理、散水についてはB班が担当し、各ポイントを計画的に植栽から肥培管理まで実施し、年中通して植栽した花木を管理することが出来た。							
成果目標(指標)及び進捗状況	R6成果目標(指標)			基準値(年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値(年度)
	観光地等の景観形成及び保全について、観光地としてふさわしい景観であると感じるか等を含め、(80%以上)、当該事業のあり方をアンケートにより実施する。	目 標	()	(80%)	(80%)	(80%)	()	
		実 績		92%	86%	84%		
	【参考指標】	目 標	()	()	()	()	()	
		実 績						
	進捗状況説明	本事業を客観的に評価するため、入域者(観光客等)に対し、観光地の景観についてアンケートを実施した。アンケートを集計した結果、問4.「本村の景観についてどのように感じますか?」という問いに対して、「とても良い」が41%、「良い」が43%、「普通」が15%と回答し、「悪い」は0%でしたが、「とても悪い」は1%という結果であった。「とても良い」から「普通」と回答された方の、84%が景観が良いと回答し、普通が15%と回答されているため、合算すると99%の方が良いまたは普通と回答されているので、本村の景観保全及び観光地としてふさわしい景観であると感じるかという目標を達成できた。						

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・夏場については、年々温度が上昇しているため、熱中症対策として製氷機の活用、クールネックで首元を冷却しながら、体温上昇を抑制しました。 ・観光地及び観光ルート of 草刈り及び花木の植栽については、年度途中の9月に作業員A班の2名を新規採用したことにより、作業効率が向上し、当初計画の内90％は遂行出来たと感じている。10％は作業員の不足や悪天候で作業中止によるものである。	・作業員が安心安全に作業を遂行できるよう、環境整備に今後も努め、成果目標を今後も評価頂けるよう、更なる環境美化に努め、村内観光客の増加に繋げる。 ・A班において2名作業員を採用したものの、1名減の状態であるため、今後も新規採用を計画する。また作業効率を改善するため、天候不良により作業中止の場合には、土日祝祭日に振替えて実施し、作業効率の維持に努める。
今後の取り組み方針		
・今後も村内が花でいっぱいになり、環境美化に寄与する取組みを継続する。 ・R6年度に関して、前年度の課題である「熱中症対策」を重点的に実施した。その結果、熱中症により途中で作業離脱する作業員が見受けられなかったもので、R7年度においても更なる熱中症対策を図り、作業員の安心で安全な事業推進に努める。		

資金の流れ （資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）																
<table><tr><th rowspan="2">総事業費</th><th rowspan="2">交付対象事業費</th><th colspan="2">交付金充当額</th><th rowspan="2">交付対象外経費</th></tr><tr><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th></tr><tr><td>52,831</td><td>51,573</td><td>41,258</td><td>10,315</td><td>1,258</td></tr></table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費	交付金充当額	市町村負担金	52,831	51,573	41,258	10,315	1,258
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費												
		交付金充当額	市町村負担金													
52,831	51,573	41,258	10,315	1,258												
伊是名村 交付対象事業費 51,573千円 報酬 29,472 千円 会計年度任用職員（報酬） 【17名】 対象外経費 77千円 職員手当等 9,410 千円 会計年度任用職員（職員手当等） 【16名】 対象外経費 1,009千円 共済費 6,464 千円 共済費・社会保険料 【16名】 対象外経費 172千円 旅費 159 千円 費用弁償（通勤手当） 【9名該当】 需用費 4,011 千円 消耗品費、燃料費等 役務費 147 千円 通信運搬費 使用料及び賃借料 507 千円 軽トラ使用料 原材料費 1,403 千円 花の種苗、肥料等購入																
資金の 使途の 流れ、 点検、 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明													
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先の選出方法について、「地方自治法施行令第167条の2第1項1号及び伊是名村契約規則第24条の第1項」の規定に基づき決定した契約のため妥当であったと考える。 ○予算規模については、人事勧告による遡及や物価高騰による増額となったが、それ以外事業内容に見合った適切な規模であったと考える。 ○費目・使途目的について、支出調書・書類により確認を行い適切であった。													
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。														
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。														
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。														

市町村名	伊是名村							
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	1-②	いぜな尚円王まつり支援事業		新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章－3－(10)－ウ			
担当部課名	商工観光課	事業実施 (予定)年度	平成24～令和13年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	イ 観光の振興に資する事業等			
事業内容	伝統文化の継承と観光客の誘致を図るため、いぜな尚円王まつり開催の支援を行う。							
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)							
実施方法	□直接実施 □委託 ■補助 □負担 □その他 ()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」＋ 「市町村負担」 ベース)			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	0	0	0	7,000	7,000	
		(b) 予算現額	0	0	0	7,000	7,000	
		(c) 増減額 (b-a)	0	0	0	0	0	
		(d) 繰越額	0	0	0	0	0	
		A. 計 (b+d)	0	0	0	7,000	7,000	
	B. 執行済額		0	0	0	7,000	7,000	
	うち交付金充当額		0	0	0	5,600	5,600	
	次年度繰越額		0	0	0	0	0	
	執行率 (%) (B/A)		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	100.0%	100.0%	
予算の状況の説明		計画どおり達成でき、予算執行も適正であった。						
活動目標 (指標) 及び達成状況	R6活動目標(指標)			達成状況				
				R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	いぜな尚円王まつり開催支援	目 標	()	()	(開催支援)	(開催支援)		
		実 績			開催支援	開催支援		
		目 標	()	()	()	()		
		実 績						
	達成状況説明	第25回いぜな尚円王まつりに係る業務委託費について開催支援である目標を達成することが出来た。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R6成果目標(指標)			基準値 (年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値 (年度)
	来場者数:2,500人以上	目 標	()	()	(2,475人以上)	(2,500人以上)	()	
		実 績			1,570人(63%)	2,275人(91%)		
	【参考指標】	目 標	()	()	()	()	()	
		実 績						
	進捗状況説明	今年度の来場者数は前年度より多くなった。しかしながら目標値の9割弱にとどまった。 前年度より多くなった要因の一つとして三連休に当てたことが多くなった要因と言える。 次年度以降についても三連休を目安として検討する。						

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	まつり開催等についてのPRが遅く、目標とする来場者数に達しなかったと思われる。	次年度からは早目のPRとして近隣市町村及びWEBやSNSを活用し、周知する。
今後の取り組み方針		
今後の取組として、6月中旬にはWEBやSNSで周知を図り、6月下旬から7月初旬にかけてポスターやチラシで周知する。また各種コンテンツの募集についてもWEBで周知を図る。		

資金の流れ （資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）														
<table><tr><th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr><tr><td>7,000</td><td>7,000</td><td>5,600</td><td>1,400</td><td>0</td></tr></table> 伊是名村 交付対象経費 7,000千円 補助金 7,000千円 いぜな尚円王まつり実行委員会 7,000千円 いぜな尚円王まつり支援補助					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	7,000	7,000	5,600	1,400	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
7,000	7,000	5,600	1,400	0										
資金の 使途の 流れ、 点検、 評価・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業者についてはプロポーザルにてプレゼンの高得点事業者を決定したため妥当であったと考える。 ○予算規模については事業内容に見合った規模である。 ○費目・使途目的について、支出調書・書類により確認を行い適切であった。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	伊是名村							
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	1-③	いぜな88トライアスロン大会支援事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章－3－(10)－ウ			
担当部課名	商工観光課	事業実施(予定)年度	平成24～令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	イ 観光の振興に資する事業等			
事業内容	観光客の誘致を図るため、本村一大イベントである「いぜな88トライアスロン大会」の開催を支援する。							
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)							
実施方法	□直接実施 □委託 ■補助 □負担 □その他()							
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」＋「市町村負担」ベース)			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	0	0	0	5,500	5,500	
		(b) 予算現額	0	0	0	5,500	5,500	
		(c) 増減額(b-a)	0	0	0	0	0	
		(d) 繰越額	0	0	0	0	0	
		A. 計(b+d)	0	0	0	5,500	5,500	
	B. 執行済額		0	0	0	5,500	5,500	
	うち交付金充当額		0	0	0	4,400	4,400	
	次年度繰越額		0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	100.0%	100.0%	
予算の状況の説明		計画どおり達成でき、予算執行も適正であった。						
活動目標(指標)及び達成状況	R6活動目標(指標)			達成状況				
				R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	伊是名村88トライアスロン大会の開催支援	目 標	()	()	(開催支援)	(開催支援)		
		実 績			開催支援	開催支援		
		目 標	()	()	()	()		
		実 績						
達成状況説明	「第37回いぜな88トライアスロン大会」を実施する実行委員会に対し、大会運営に係る舞台音響や募集・計測業務委託の補助を行った。							
成果目標(指標)及び進捗状況	R6成果目標(指標)			基準値(年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値(年度)
	いぜな88トライアスロン大会参加者の満足度80%以上	目 標	()	()	(80%)	(80%)	()	
		実 績			100%	100%		
	【参考指標】	目 標	()	()	()	()	()	
		実 績						
	進捗状況説明	○新型コロナが明け、2大会連続で開催し、村内宿泊キャパに合わせた募集定員を350名として開催したが、運営ボランティアの確保に苦慮したものの、安全安心な大会運営ができ、村民一丸となって実施できた大会となった。 ○「トライアスロン人気ランキング2024」においても500名以下の大会部門で、1位となるなど、選手からも高評価を得られる大会へと成長したと実感している。 ○選手へのアンケート結果では、満足・大変満足が「97%」、普通が「2%」、不満・大変不満が「0%」、わからないが「1%」という結果で、選手にとっても第37回大会は満足だったと言える。						

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	選手の安全性を確保するためにも、リタイヤ者が多いスイム競技の潮流の強さについては、選手からのアンケートの中でも毎年取り上げられており、改善の余地がある。	これまで37回開催し、競技中の死亡者0人と安心安全な大会として知られているのが本大会であるが、潮流の緩い時間帯に合わせたスタート時間の設定や大会日設定の必要がある。
今後の取り組み方針		
リタイヤが多く、危険な競技でもあるスイム競技を安心安全に実行するためには、スタート場所であるスイム会場の変更、潮流の緩い時間帯や開催日を設定できるよう、検討を重ねていく。		

資金の流れ （資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）														
<table><tr><th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr><tr><td>5,500</td><td>5,500</td><td>4,400</td><td>1,100</td><td>0</td></tr></table> 伊是名村 交付対象経費 5,500千円 補助金 5,500千円 いぜな88トライアスロン大会実行委員会 5,500千円 いぜな88トライアスロン大会支援補助					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	5,500	5,500	4,400	1,100	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
5,500	5,500	4,400	1,100	0										
資金の 使途の 流れ、 点検、 評価・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業者については大会の技術的特性から、それぞれの分野で専門性が問われるため、「地方自治法施行令第167条の2第1項1号及び伊是名村契約規則第24条の第1項」の規定に基づき決定した契約のため妥当であったと考える。 ○予算の規模について、事業内容に見合った適正な規模であった。 ○費目・使途目的について、支出調書・書類により確認を行い適切であった。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名		伊是名村							
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】									
事業番号・事業名		1-④	「尚円王(金丸)生誕の村」整備事業		新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所		第4章-1-(4)-7		
担当部課名		教育振興課	事業実施 (予定)年度	平成24～令和8年度	沖縄振興基本方針 該当箇所		イ 観光の振興に資する事業等		
事業内容		琉球王国第2尚氏初代国王・尚円王の血族である「銘苅家」に伝わった旧蔵品について、漆工品、古文書等の分野別に調査を行い、各々の資料にあった方法で修復を行う。これにより、現物資料をより適切な状態で展示・保管することができ、後世へ継承すると同時に観光客の満足度の向上へと繋げる。							
効果発現年度		■当年度 □後年度(年度)							
実施方法		□直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)				R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
		予算 の 状 況	(a) 当初予算額	18,800	18,000	1,339	2,630	2,022	
			(b) 予算現額	17,574	18,000	1,339	2,520	2,018	
			(c) 増減額(b-a)	▲ 1,226	0	0	▲ 110	▲ 4	
			(d) 繰越額	0	0	0	0	0	
			A. 計(b+d)	17,574	18,000	1,339	2,520	2,018	
		B. 執行済額		17,574	17,992	1,339	2,521	2,018	
		うち交付金充当額		14,059	14,393	1,071	2,016	1,614	
		次年度繰越額		0	0	0	0	0	
		執行率(%) (B/A)		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
予算の状況の説明		令和6年度予算については、事業計画通り執行が完了している。							
活動目標 (指標) 及び達成状況		R6活動目標(指標)		達成状況					
					R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
		旧蔵品修復の完了	目 標	(完了)	(完了)	(完了)	(完了)		
			実 績	完了	完了	完了	完了		
			目 標	()	()	()	()		
			実 績						
達成状況説明	本年度修復対象とした古文書及び漆工品について修復を実施した。								
成果目標 (指標) 及び進捗状況		R6成果目標(指標)			基準値 (年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値 (年度)
		旧蔵品(復元資料)を活用した祭事への来場者数:80人	目 標	()	(250)	(80)	(80)	()	
			実 績		81	150	75		
		【参考指標】	目 標	()	()	()	()	()	
			実 績						
		進捗状況説明	旧蔵品の模造復元資料を用いた行事である公事清明祭への来場者数の目標地を80人と設定したが、目標値をわずかに下回る結果となった。						

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・旧蔵品の修復については、熟練した技術を有する職人による手作業となることから、作業時間が膨大となるため、計画的且つ継続した事業の実施に取り組む必要がある。 ・修復した旧蔵品については、文化財として保存を図るとともに、教育現場等の教材として活用することにより、島内の子ども達が生まれた島に誇りをもっていけるような機会の醸成に努め、併せて尚円王ブランドとして本村のPRへ繋げるための方策を積極的に展開していく必要がある。 ・島外より来村する観光客への周知不足等により、目標値が達成できなかった。	・旧蔵品の修復については、資料の状態を考慮し優先度の高いものから計画的に事業を実施する。また修復期間を可能な限り多く確保する為、年度開始後、早急に事業者の選定を行う。 ・保存修理の完了した旧蔵品をはじめとした文化財について積極的な活用・情報発信を図っていくとともに、利活用状況等を適切に把握することで、PR方法や活用方法の見直し等について適宜行えるようになるものと考えられる。 ・観光客への周知方法を模索し、効果的な宣伝を行う。
今後の取り組み方針		
・修復対象資料の選定にあたっては、事前に必要性、緊急性等を勘案し、翌年度以降にどの資料を修理の対象とするかを事前に検討しておくとともに、劣化具合等を継続的に把握することで、必要に応じて優先度の再検討を行い、事業を実施していく。 ・修復が完了した資料については、観光資源として展示・公開に供すると共に、地域における文化財への意識高揚を図る取り組みへ活用する。 ・本村広報誌やホームページでの周知に加え、いげな島観光協会やその他観光イベントを周知するサイトへの掲載等を調整し、より効果的な宣伝活動を実施し、これまでアプローチできなかった客層へも周知を試みる。		

資金の流れ （資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）														
<table><tr><th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr><tr><td>2,018</td><td>2,018</td><td>1,614</td><td>404</td><td>0</td></tr></table> 伊是名村 交付対象事業費 2,018千円 委託料 2,018千円 石川堂 1,173千円 琉球漆工藝舎 845千円 （令和6年度銘苅家文書） （銘苅家扁額保存修理委託業務）					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	2,018	2,018	1,614	404	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
2,018	2,018	1,614	404	0										
資金の 使途の 流れ、 点検、 評価・ 費目	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・当該業務については、業務の技術的特性から地方自治法施行令第167条の2第1項第2号による契約であるため妥当と考える。 ・予算規模については、事業内容に見合った適正な規模であったと考える。 ・実績により成果物、書類等を精査し、委託料を確定しており妥当と考える。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名		伊是名村								
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】										
事業番号・事業名		1-⑤	伊是名モータースポーツ支援事業		新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所		第4章-3-(9)-7			
担当部課名		建設環境課	事業実施 (予定)年度	平成26～令和13年度	沖縄振興基本方針 該当箇所		イ 観光の振興に資する事業等			
事業内容		観光誘客を促進するため、場外離着陸場を活用した新たなイベント事業として、モータースポーツ大会を支援する。								
効果発現年度		■当年度 □後年度(年度)								
実施方法		■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他()								
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)				R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度		
		予算 の 状 況	(a) 当初予算額	5,001	0	5,162	5,285	7,247		
			(b) 予算現額	1,193	0	5,162	4,693	5,612		
			(c) 増減額(b-a)	▲ 3,808	0	0	▲ 592	▲ 1,635		
			(d) 繰越額	0	0	0	0	0		
			A. 計(b+d)	1,193	0	5,162	4,693	5,612		
		B. 執行済額		1,188	0	4,056	4,639	5,530		
		うち交付金充当額		944	0	3,245	3,631	4,424		
		次年度繰越額		0	0	0	0	0		
		執行率(%) (B/A)		99.6%	#DIV/0!	78.6%	98.8%	98.5%		
予算の状況の説明		当初と比較し競技車両の輸送費用が想定を下回った事による余剰分を変更申請にて削減したため、前年度と比べ執行率が向上した。								
活動目標 (指標) 及び達成状況		R6活動目標(指標)			達成状況					
				R3年度	R4年度	R5年度	R6年度			
		ドラッグレース大会の開催	目 標	()	(2大会)	(2大会)	(2大会)			
			実 績		2大会	2大会	2大会			
		ジムカーナ大会の開催	目 標	()	(1大会)	(1大会)	(1大会)			
			実 績		1大会	1大会	1大会			
		ドリフト大会の開催	目 標	()	()	()	(1大会)			
			実 績				1大会			
		達成 状況 説明	・活動目標のドラッグレース及びジムカーナ大会に加えドリフト大会の開催を達成することができた。 今年度において台風や大雨による中止延期もなく開催できたことが良い点であった。							
		成果目標 (指標) 及び進捗状況		R6成果目標(指標)				基準値 (年度)	R4年度	R5年度
モータースポーツ大会来場者数:1,263人以上	目 標			()	(456人)	(754人)	(1,263人)	()		
	実 績				920人	765人	1,020人			
【参考指標】	目 標			()	()	()	()	()		
	実 績									
進 捗 状 況 説 明	今年度の来場者数は前年度より多く見積もった結果実績数は目標値の8割となってしまったが、前年度実績を大きく上回った。 ドリフト大会の参入が観戦者数の増に繋がったと考えられる。									

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・新規大会の開催により、大会ごとの客層の変化が比較でき、ドラッグレース・ジムカーナ大会については年齢層の高い世代が多く見られ、ドリフト大会については若い世代の参加者や観戦者が多く見られた。しかしながら過去の実績と増加率勘案して設定した成果目標は達成できなかったため、目標値を見直しが必要であるとする。 ・成果目標を達成できなかったもう一つの要因として開催日が他イベントと重複していたことが要因であった。	・観戦者を増やすため、他市町村関係イベントと日程が重複しない日程の作成と飲食店ブースの誘致を行う必要がある。 ・また例年同様に熱中症対策を引きつづき実施していく。
今後の取り組み方針		
・前年度と比べ来場者数は増加したが、大会数を増やした事による増であることや新規大会である為客層が伸びた印象である。そのため大会開催時期の検討や、大会周知を引きつづき実施していく必要があり、離島村で開催という希少性を長所と捉えていく必要がある。		

資金の流れ （資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）														
<table><tr><th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr><tr><td>5,603</td><td>5,530</td><td>4,424</td><td>1,106</td><td>73</td></tr></table> 伊是名村 総事業費 5,603千円 報酬 60千円 対象外経費 60千円 送迎バス運転手報酬（60千円） ※対象外経費 需用費 68千円 対象外経費 13千円 消耗品費（5千円） 燃料費（50千円） 修繕費（13千円）※対象外経費 役務費 5,139千円 通信運搬費（3,802千円） 広告料（1,320千円） 手数料（17千円） 使用料及び賃借料 336千円 使用料 （フォークリフト、マイクロバス、簡易トイレ） 336千円					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	5,603	5,530	4,424	1,106	73
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
5,603	5,530	4,424	1,106	73										
資金の 使途の 流れ、 点検、 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先については村の例規に則って選定しており、妥当であった。 ○予算規模については、事業内容に見合った適切な規模であったと考える。 ○費目・使途目的について、支出調書・書類により確認を行い適切であった。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	伊是名村							
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	1-⑥	伊是名海岸環境整備事業		新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-3-(10)-ウ			
担当部課名	商工観光課	事業実施 (予定)年度	令和3～令和7年度		沖縄振興基本方針 該当箇所	イ 観光の振興に資する事業等		
事業内容	本村の観光資源である伊是名海岸(通称、伊是名ビーチ)の活用を促進し、観光満足度の向上を図るため、管理道路、緑地、駐車場等の整備を行い、観光受け入れ体制を強化する。							
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)							
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	0	4,664	13,827	59,026	60,764	
		(b) 予算現額	0	4,664	13,827	51,898	60,764	
		(c) 増減額(b-a)	0	0	0	▲ 7,128	0	
		(d) 繰越額	0	0	0	0	0	
		A. 計(b+d)	0	4,664	13,827	51,898	60,764	
	B. 執行済額			4,620	13,827	51,898	60,764	
	うち交付金充当額			3,696	11,061	41,518	48,611	
	次年度繰越額			0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)		#DIV/0!	99.1%	100.0%	100.0%	100.0%	
予算の状況の説明		当初予算どおり計画的に事業を執行することができた。						
活動目標 (指標) 及び達成状況	R6活動目標(指標)			達成状況				
				R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	伊是名海岸環境整備工事を実施	目 標	(基本計画 策定)	(実施設計)	(実施工事)	(実施工事)		
		実 績	完了	完了	完了	完了		
		目 標	()	()	()	()		
		実 績						
達成状況説明	伊是名海岸において、植栽や緑地帯形成、駐車場整備等の環境整備を実施し、活動目標を達成できた。							
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R6成果目標(指標)			基準値 (年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値 (年度)
	伊是名海岸環境整備工事の完了	目 標	()	(実施設計)	(実施工事)	(実施工事)	()	
		実 績		完了	完了	完了		
	【参考指標】	目 標	()	()	()	()	()	
		実 績						
	進捗状況説明	伊是名海岸において、植栽、緑地帯、駐車場の整備を完了し、目標を成果目標を達成できた。						

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	伊是名海岸はいぜな88トライアスロン大会スイム会場である。毎年11月中旬頃に開催される大会には選手関係者約400人が来島する。大会の開催に支障がないように工事の早期発注に取り組む必要がある。	工事発注事務を迅速に行う他、トライアスロン大会の運営に支障が出ないように大会事務局との情報の共有を図りなが連携を密にする。
今後の取り組み方針		
トライアスロン大会に支障がないように、工事発注支援業務及び工事の早期発注に努める。また、トライアスロン大会事務局との情報の共有化を図りながら、課題解決に取り組む。		

資金の流れ （資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）														
<table><tr><th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr><tr><td>60,766</td><td>60,764</td><td>48,611</td><td>12,153</td><td>2</td></tr></table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	60,766	60,764	48,611	12,153	2
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
60,766	60,764	48,611	12,153	2										
伊是名村 総事業費 60,766千円 工事請負費 60,766千円 (株)里伸開発 40,086千円 対象外経費 2千円 (有)タカラ建設 20,680千円 伊是名海岸環境整備工事R6(その1) 伊是名海岸環境整備工事R6(その1)														
資金の 使途の 流れ、 点検、 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・指名競争入札で事業を実施したため、支出先の選定については妥当である。 ・予算規模についても国や県の基準を基に算出したので、適正規模であったと考えている。 ・費目や予算の使途については、地域資源を活用した魅力的な観光地づくりに寄与するものであり、真に必要な事業である。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	伊是名村								
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】									
事業番号・事業名	1-⑦	伊是名村出店事業者販路拡大支援事業		新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章－3－(8)－イ				
担当部課名	商工観光課	事業実施 (予定)年度	平成24～令和13年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	イ 観光の振興に資する事業等				
事業内容	伊是名村内事業者の増加及び販路拡大のため、村外で実施される各種イベントへの出店費用に対し支援する。								
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)								
実施方法	□直接実施 □委託 ■補助 □負担 □その他 ()								
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」＋ 「市町村負担」 ベース)			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度		
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額						900	
		(b) 予算現額						420	
		(c) 増減額 (b-a)	0	0	0	0	▲ 480		
		(d) 繰越額					0		
		A. 計 (b+d)	0	0	0	0	420		
	B. 執行済額						290		
	うち交付金充当額						232		
	次年度繰越額						0		
	執行率 (%) (B/A)		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	69.0%		
予算の状況の説明		・減額になった要因として、新規参入事業者を見込んで予算化していたが、実際には在庫不足で出店が叶わなかった。 ・不用額が出た要因については、事業実施主体側と担当者との間で出店料と出店事業者の数に誤差が生じていた。							
活動目標 (指標) 及び達成状況	R6活動目標(指標)			達成状況					
				R3年度	R4年度	R5年度	R6年度		
	1. ありんくりん市(出店料補助) 2. 離島フェア (出店料補助)			目 標	()	()	()	(出店料補助)	
				実 績				出店料補助	
				目 標	()	()	()	()	
				実 績					
達成状況説明	出店事業者販路拡大を支援する伊是名村商工会に対し、各種フェアへ出店される事業者分の出店料の補助を行った。								
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R6成果目標(指標)			基準値 (年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値 (年度)	
	各フェア終了後に出店された事業者からアンケートを頂き、今後の事業のあり方を検証する。			目 標	()	()	()	(100%)	()
				実 績				100%	
	【参考指標】			目 標	()	()	()	()	()
				実 績					
	進捗状況説明	本事業を評価するため、出店事業者に対しアンケートを実施した結果、「出店料の補助金は妥当であると感じますか？」という問いに対して、「妥当」が100%、「どちらでもない」、「妥当ではない」が0%という結果で、出店料の必要性及び補助金に対しても満足頂いたと、一定の評価が出来る。							

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・各種フェアの出店事業者の決定及び出店料の決定について、事業実施主体側と担当者との間で誤差が生じていたため、今後は双方連携を密にしながら実施する。 ・R6年度については新規事業者が多く、各種フェアへの在庫確保が厳しく、出店について躊躇していた事業者が多かったので、R7年度については商工会と連携し、各種フェアへの参加推進に努めたい。	・各種フェアへの出店事業者へ切後に、出店料の報告するよう事業実施主体の商工会へ依頼する。 ・各種フェアへの出店募集について、在庫確認のためにも早めに媒体及び村HP及び商工会のSNS等を活用しながらPRを図る。
今後の取り組み方針		
・R7年度は新規事業者が出店出来るよう、早めに事業実施の働きかけを行い、出店に向けて支援する。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
290	290	232	58	0

伊是名村
交付対象経費
290千円

補助金
290千円

伊是名村商工会
290千円

伊是名村出店事業者販路拡大
支援補助金

資金の 使途の 流れ、 点検、 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先選定方法については、交付要綱等に従って決定しており、妥当であった。 ○予算規模については、事業内容に見合った適切な規模であったと考える。 ○費目・使途目的についても適切であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	伊是名村							
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	2-①	伊是名村自動車航送コスト負担軽減事業		新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章－2－(8)－ア			
担当部課名	商工観光課	事業実施 (予定)年度	平成24～令和13年度		沖縄振興基本方針 該当箇所	タ 離島の振興に資する事業等		
事業内容	離島の不利性を解消し定住促進を図るため、沖縄本島の今帰仁村運天港と本村を結ぶフェリーの自動車航送運賃負担を軽減する。							
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)							
実施方法	□直接実施 □委託 □補助 □負担 ■その他 (繰出金)							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」＋「市町村負担」ベース)			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	13,026	12,549	12,175	11,227	13,434	
		(b) 予算現額	10,636	11,094	12,197	13,504	13,917	
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 2,390	▲ 1,455	22	2,277	483	
		(d) 繰越額	0	0	0	0	0	
		A. 計 (b+d)	10,636	11,094	12,197	13,504	13,917	
	B. 執行済額		10,375	10,257	12,196	13,220	13,917	
	うち交付金充当額		8,300	8,205	9,757	10,576	11,134	
	次年度繰越額		0	0	0	0	0	
	執行率 (%) (B/A)		97.5%	92.5%	100.0%	97.9%	100.0%	
予算の状況の説明		感染症等が落ち着き本島間を往来する利用者が増え、コロナ禍前の水準を上回る月が多くなり、当初計画を上回る実績となった。						
活動目標 (指標) 及び達成状況	R6活動目標(指標)			達成状況				
				R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	自動車航送コスト支援の実施	目 標	(負担軽減)	(負担軽減)	(負担軽減)	(負担軽減)		
		実 績	負担軽減	負担軽減	負担軽減	負担軽減		
		目 標	()	()	()	()		
		実 績						
達成状況説明	本村が運営するフェリーは沖縄本島と本村を結ぶ唯一の交通機関である。医療や教育、福祉の充実、産業振興等、村民生活を更に豊かにするために、交通コストの経済的負担を軽減することでより金銭的に沖縄本島間を往来しやすい環境を整え、離島の不利性を減少し、住みよい環境の確保に繋がったと考える。							
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R6成果目標(指標)			基準値 (年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値 (年度)
	沖縄本島へ移動しやすい環境の構築が図れたか(80%以上)を含め、島民へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	目 標	()	(80%)	(80%)	(80%)	()	
		実 績		89.3%	90.6%	92.6%		
	【参考指標】	目 標	()	()	()	()	()	
		実 績						
	進捗状況説明	年度当初から事業を開始し、月毎に利用者数の把握した。事業完了月に村民へアンケートを実施し、事業の効果等の検証を行った。アンケート結果からも本事業が村民の負担軽減に繋がっていることがわかり、自由回答欄でも「事業継続を希望する」旨の要望が多く、これからも事業の継続を図っていく必要がある。						

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	負担軽減後の自動車航送運賃額が定着し、利用者の中には本事業において負担軽減されている事の認知度が薄れており、再度本事業の認知向上を図る必要がある。	コロナ感染症が落ち着き利用者が増えている中、近年の物価高で離島での生活コストがより掛かる状況が続いている。よって、住民に対し本事業の目的などを周知し、本事業を継続してコスト軽減の支援をする必要がある。
今後の取り組み方針		
本事業の目的などの認知を向上させるため、ターミナル内等で掲示などを行い事業内容を周知を図っていく。		

資金の流れ （資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）														
<table><tr><th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr><tr><td>58,950</td><td>13,917</td><td>11,134</td><td>2,783</td><td>45,033</td></tr></table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	58,950	13,917	11,134	2,783	45,033
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
58,950	13,917	11,134	2,783	45,033										
伊是名村 【一般会計】 交付対象事業費 13,917千円 繰出金 13,917千円 伊是名村船舶運航事業 【特別会計】 繰入金 13,917千円 （自動車航送料金（1台あたりの軽減額及び受益者負担） ●3m～4m未満：8,430円（内 2,120円：コスト軽減助成） ・8,430円 － 2,120円 ＝ 6,310円（受益者負担） ●4m～5m未満：10,430円（内 2,120円：コスト軽減助成） ・10,430円 － 2,120円 ＝ 8,310円（受益者負担）														
資金の 使途の 流れ、 点検、 評価・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○フェリーが唯一の沖縄本島と本村を結ぶ航路であり、その運航を掌るのが船舶運航特別会計である。よって本事業の支出先として妥当である。 ○執行率100%であり適正な規模であった。 ○受益者である村民の負担軽減を図るにあたり、事業内容・積算から判断し妥当であった。 ○費目、使途について精算段階で精査しており、目的に即したものと判断した。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	伊是名村							
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	3-①	人材育成事業(日高小との交流事業)		新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章－5－(2)－イ			
担当部課名	教育振興課	事業実施 (予定)年度	平成24～令和13年度		沖縄振興基本方針 該当箇所	へ 人材の育成に資する事業等		
事業内容	沖縄と北海道という環境の全く違うと土地での暮らしや、歴史・文化を体験し学ぶことを目的に、伊是名小学校6年生を北海道日高町へ派遣し、日高小学校との交流学习を実施する。							
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)							
実施方法	□直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」＋「市町村負担」ベース)			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額			1,575	3,775	2,860	
		(b) 予算現額			1,575	2,538	2,376	
		(c) 増減額 (b-a)	0	0	0	▲ 1,237	▲ 484	
		(d) 繰越額			0	0	0	
		A. 計 (b+d)	0	0	1,575	2,538	2,376	
	B. 執行済額				1,472	2,538	2,376	
	うち交付金充当額				1,177	2,030	1,900	
	次年度繰越額				0	0	0	
	執行率(%) (B/A)		#DIV/0!	#DIV/0!	93.5%	100.0%	100.0%	
予算の状況の説明		予定通り1月末に派遣を実施した。入札残の484千円は第4回変更で減額した。						
活動目標 (指標) 及び達成状況	R6活動目標(指標)			達成状況				
				R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	日高小学校との交流・体験学習の実施派遣者 ・伊是名小学校6年生 14人 ・引率者 5人	目 標	()	(児童:10人 引率:5人)	(児童:20人 引率:5人)	(児童:14人 引率:5人)		
		実 績		児童:10人 引率:5人	児童:20人 引率:5人	児童:13人 引率:5人		
		目 標	()	()	()	()		
		実 績						
達成状況説明	当初では児童14人を派遣予定であったが、転校により1名減となり、児童13人、引率者5人の派遣となった。 スキー体験や日高小学校児童との宿泊交流を実施した。また、帰村後に保護者や地域の住民に向けた交流体験報告会を実施した。							
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R6成果目標(指標)			基準値 (年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値 (年度)
	児童の協調の精神等の向上についてまとめた報告書を作成	目 標	()	(作成)	(作成)	(作成)	()	
		実 績		作成	作成	作成		
	保護者アンケートを行い、県外での交流により児童の視野が広がったと感じたか(80%以上)を含め、当該事業の在り方について検討する。	目 標	()	(80%)	(80%)	(80%)	()	
		実 績		90%	85%	92%		
	進捗状況説明	保護者及び村関係者へ向けた報告会を実施した。6年生児童がグループ毎に交流体験の様子を発表した。 保護者アンケートでは9割以上の保護者が「児童の視野が広がった」と回答した。						

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	事前にオンライン交流を実施したため、円滑な交流事業が実施できた。 日高小は1月半ばから学校が始まるため受け入れが厳しい状況である。派遣時期を2月にずらすことも検討する必要がある。	日高小が対応できるように日程を調整する必要がある。 次年度以降も事前にオンライン交流を行い、互いの友情を深め、交流会をより充実したものにしていく。
今後の取り組み方針		
本村は離島であるため、島外及び県外との交流が容易に行えない。日高小との交流事業は、島とは異なる地域の自然や文化、暮らしを体験でき、子どもたちの多様な価値観や社会性を養うことに大きく寄与すると考える。 相互交流を継続していけるように、派遣時期を見直す等、問題点、課題点は柔軟に対応し、学校、保護者、村で連携して事業を実施していく。		

資金の流れ （資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）														
<table><tr><th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr><tr><td>2,376</td><td>2,376</td><td>1,900</td><td>476</td><td>0</td></tr></table> 伊是名村 交付対象事業費 2,376千円 委託料 2,376千円 （有）名護ツアーセンター 2,376千円 令和6年度（第31次） 伊是名村少年の翼派遣事業に係る業務 ・児童数：13人 ・引率者：5人					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	2,376	2,376	1,900	476	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
2,376	2,376	1,900	476	0										
資金の 使途の 流れ、 点検、 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は例規に則った選定となっており妥当と考える。 ○予算規模は事業内容を勘案して適切なものであったと考える。 ○あらかじめ受益者負担として保護者負担経費を設けていることから応分の負担がなされており、妥当と考える。 ○費目、使途については確定時において、支出等に関する資料より確認、適切であった。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名		伊是名村						
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名		3-②		児童生徒島外諸教育活動支援事業		新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所		
担当部課名		教育振興課		事業実施 (予定)年度	平成24～令和13年度	沖縄振興基本方針 該当箇所		
事業内容		島外の児童との競争や交流の機会を増やすことで児童生徒に広い視野を持たせることを目的として、島外で開催されるスポーツ大会や文化事業発表会に参加する児童生徒に対し、渡航費を支援する。						
効果発現年度		■当年度 □後年度(年度)						
実施方法		■直接実施 □委託 ■補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)				R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
		予算 の 状 況	(a) 当初予算額	2,150	2,150	2,150	2,450	2,450
			(b) 予算現額	800	1,150	2,150	2,450	2,450
			(c) 増減額(b-a)	▲ 1,350	▲ 1,000	0	0	0
			(d) 繰越額	0	0	0	0	0
			A. 計(b+d)	800	1,150	2,150	2,450	2,450
		B. 執行済額		639	1,043	1,915	1,864	1,727
		うち交付金充当額		622	825	1,532	1,491	1,382
		次年度繰越額		0	0	0	0	0
		執行率(%) (B/A)		79.9%	90.7%	89.1%	76.1%	70.5%
予算の状況の説明		本年度は、小学校バレーボールクラブについては、当初予定していた大会及び練習試合等の参加が出来なかったため全体の予算執行率70%となり昨年度と比較して6%の減少となったが、他団体については概ね予定どおり執行することができた。						
活動目標 (指標) 及び達成状況		R6活動目標(指標)		達成状況				
				R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
		島外教育活動への派遣費の支援 活動団体数:8団体	目 標	(島外諸教育活動 への派遣支援)	(島外諸教育活動 への派遣支援)	(島外諸教育活動 への派遣支援)	(島外諸教育活動 への派遣支援)	
			実 績	島外諸教育活動 への派遣支援	島外諸教育活動 への派遣支援	島外諸教育活動 への派遣支援	島外諸教育活動 への派遣支援	
			目 標	()	()	()	()	
			実 績					
達成 状況 説明	児童生徒が島外諸教育活動に参加するため、離島という地理的条件のために生じる経費(船賃、宿泊費の一部)各団体に支援することができた。							
成果目標 (指標) 及び進捗状況		R6成果目標(指標)		基準値 (年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値 (年度)
		派遣された児童・生徒の保護者へのアンケートで、児童・生徒が島内ではできない経験をする ことができたか(80%以上)を含め、当該事業 のあり方について検証する。	目 標	()	(80%)	(80%)	(80%)	()
			実 績		94.0%	93.0%	94.0%	
		【参考指標】	目 標	()	()	()	()	()
			実 績					
		進 捗 状 況 説明	児童生徒を島外派遣することで競技力向上や島外児童生徒と交流することによるコミュニケーション能力の向上にも繋がると考える。また、保護者アンケートを実施した結果、保護者の方が94%の割合で「島内ではできない経験をすることができた」と回答しており昨年度並みで目標を達成することができた。					

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・昨年度に引続き、保護者からの意見として宿泊費用について上限2,500円としているが昨今の物価上昇に伴い、実費精算での支援はできないかとの要望がある。	・宿泊費等の支援については、補助の考え方及び他市町村の派遣事業を参考に慎重に進める必要がある。
今後の取り組み方針		
・保護者アンケート調査及び指導者との聞き取り調査等も実施した上で本事業のあり方について検証していく。		

資金の流れ （資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）														
<table><tr><th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr><tr><td>1,736</td><td>1,727</td><td>1,382</td><td>345</td><td>9</td></tr></table> 伊是名村 交付対象事業費 1,727千円 補助金 1,727千円 → 学校・団体 （児童生徒・指導者） 1,727千円 （ 島外諸教育活動に係る補助 ） （ 対象外経費 （9千円） ）					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	1,736	1,727	1,382	345	9
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
1,736	1,727	1,382	345	9										
資金の 使途の 流れ、 点検、 評価・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○補助対象者については交付要綱等に従って決定しており、支出先の選定方法は妥当と考える。 ○予算規模については、派遣人数等に応じたものであり、適正な規模であったと考える。 ○渡航費及び宿泊費（上限有り）が主な補助対象経費となっておりその他は個人の負担となっていることから、受益者との負担関係は妥当と考える。 ○費目・使途については確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	伊是名村							
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	3-③	幼稚園預かり保育支援事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-2-(2)-7			
担当部課名	教育振興課	事業実施(予定)年度	平成24～令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	へ人材の育成に資する事業等			
事業内容	保護者の育児における負担感軽減及び保護者が安心して仕事ができる環境を整えるため、保育士を配置し、預かり保育を支援する。							
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)							
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他()							
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	3,200	3,237	2,808	3,959	4,075	
		(b)予算現額	2,482	2,279	2,808	3,134	5,159	
		(c)増減額(b-a)	▲718	▲958	0	▲825	1,084	
		(d)繰越額	0	0	0	0	0	
		A.計(b+d)	2,482	2,279	2,808	3,134	5,159	
	B.執行済額		2,258	2,027	2,686	3,110	4,861	
	うち交付金充当額		1,807	1,562	2,149	2,488	3,889	
	次年度繰越額		0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)		91.0%	88.9%	95.7%	99.2%	94.2%	
予算の状況の説明		当初の預かり保育士勤務日数及び期末手当等の金額に差異が生じることが予想されたため、1,084千円増額した。						
活動目標(指標)及び達成状況	R6活動目標(指標)			達成状況				
				R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	預かり保育士の雇用:2名	目標	(2名)	(2名)	(2名)	(2名)		
		実績	2名	2名	2名	2名		
		目標	()	()	()	()		
		実績						
達成状況説明	預かり保育士の急な休み等がある場合については、代替保育士(日々雇用者)を1名雇用し、常時2名体制で預かり保育を実施することができた。							
成果目標(指標)及び進捗状況	R6成果目標(指標)			基準値(年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値(年度)
	保護者への事後アンケートを行い、預かり保育の実施により育児負担軽減を感じたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方を検証する。	目標	()	(80%)	(80%)	(80%)	()	
		実績		100%	100%	100%		
	【参考指標】	目標	()	()	()	()	()	
		実績						
	進捗状況説明	「預かり保育を行う事で育児負担感軽減につながったか」の事後アンケート調査に回答のあった保護者の中で、「満足」「概ね満足」と回答した割合が合計で100%を占めた。						

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	預かり保育士の急な休み等による運営の支障を防ぐため、代替保育士（日々雇用者）を雇い、預かり保育を円滑に実施した。 賃金の引き上げに伴い、報酬、期末手当及び共済費について遡及を行った。	・本事業実施後の事後アンケートで、「保護者の育児における負担感の軽減に繋がった」との回答が確認できた。今後とも、保護者における意見・要望等を積極的に取り入れ、保護者における育児の負担感軽減に繋げていきたい。
今後の取り組み方針		
・保護者の育児における負担感が軽減されたかについて保護者へのアンケート調査を実施し、事業効果を確認することができた。今後も保護者の意見や要望を参考に、利用しやすい環境づくりを図っていく。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位: 千円)				
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
4,880	4,861	3,889	972	19

伊是名村
交付対象事業費
4,861千円

報酬費
3,190千円

対象外経費
5千円

期末手当等
1,109千円

対象外経費
14千円

共済費
562千円

厚生労働省年金局
(預かり保育士: 2名)
361千円

会計年度任用職員(報酬)
(預かり保育士: 2名)
(日々雇用預かり保育士: 1名)
3,190千円

会計年度任用職員(期末・勤勉手当)
(預かり保育士: 2名)
1,109千円

公立学校共済組合 沖縄支部
(預かり保育士: 2名)
201千円

資金 使途の 流れ、 点検、 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先は本村であり、妥当であったと考える。 ○執行率94.2%となっており、予算規模は適正であったと考える。 ○費用、使途については目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	伊是名村							
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	3-④	学習支援事業		新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章－5－(1)－イ			
担当部課名	教育振興課	事業実施 (予定)年度	平成24～令和13年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	へ人材の育成に資する事業等			
事業内容	児童生徒の学力向上及び学校生活や学習上の困難の改善を図るため、村営学習塾及び放課後教室の開講、学習支援員を配置する。							
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)							
実施方法	■直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」＋「市町村負担」ベース)			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	28,327	32,870	30,393	31,359	31,573	
		(b) 予算現額	26,106	25,208	30,393	27,828	35,567	
		(c) 増減額(b-a)	▲ 2,221	▲ 7,662	0	▲ 3,531	3,994	
		(d) 繰越額	0	0	0	0	0	
		A. 計(b+d)	26,106	25,208	30,393	27,828	35,567	
	B. 執行済額		22,322	23,979	26,088	26,414	34,703	
	うち交付金充当額		20,494	18,445	20,870	21,131	27,762	
	次年度繰越額		0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)		85.5%	95.1%	85.8%	94.9%	97.6%	
予算の状況の説明		今年度は、学習支援員の人件費において、給与改定に伴い3,994千円の増額となったが、塾の運営費等については計画どおり執行できた。						
活動目標 (指標) 及び達成状況	R6活動目標(指標)		達成状況					
				R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	学習支援員の確保:4人	目 標	(3人)	(4人)	(4人)	(4人)		
		実 績	3人	4人	4人	4人		
	週3日程度の学習塾を開講	目 標	(週4日)	(週4日)	(週3日)	(週3日)		
		実 績	週3日	週3日	週3日	週4日		
達成状況説明	今年度は、学習支援員を目標である4人の支援員を配置することができ取組内容については、教育活動支援及び学習に遅れのある児童生徒を中心に教員と連携し支援を行うことができた。また、学習塾については、民間事業者へ公募型プロポーザルを実施し業者選定を行い目標の週3日から週4日開講することができ、12月～3月までの期間は中学3年生を中心に週4日間開講して受験強化期間に取り組むことができ全員合格に繋がった。							
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R6成果目標(指標)			基準値 (年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値 (年度)
	平成30年度～令和4年度までの沖縄県学びのたしかめ調査での村と県の平均正答率の差 小学校 -9.3ポイント以上	目 標	()	(-13.3ポイント以上)	(-11.6ポイント以上)	(-9.3ポイント以上)	()	
		実 績		-2.1ポイント	-11.9ポイント	8.4ポイント		
	平成30年度～令和4年度までの沖縄県学びのたしかめ調査での村と県の平均正答率の差 中学校 -9.5ポイント以上	目 標	()	(-1.2ポイント以上)	(-4.9ポイント以上)	(-9.5ポイント以上)	()	
		実 績		-8.4ポイント	-31.0ポイント	-6.3ポイント		
	進捗状況説明	①小学校8.4ポイントで目標達成、②中学校-6.3ポイントで目標を達成することができた。						

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・令和6年度は、村営塾を開塾することで民間の高い指導力と充実した内容で実施することができ高校入試合格率100％達成することができたが、小学生を対象とした「まちがに塾」に関しては、高学年の参加児童数が少ないことから、児童及び保護者へPR活動を強化する必要がある。	・学校側と連携して、児童及び保護者へPR活動として「塾だより」等を作成し入塾していない児童も含めて全保護者へ配布して、塾の取組内容などをPRすることで参加児童の増員にも繋がるものとする。
今後の取り組み方針		
昨年度に引続き夏休み期間及び冬休み期間を利用し、受験生を対象に受験合宿を年2回実施して他校の生徒と受験合宿を行うことで競争意識の向上を図り、学校・塾・家庭・教育委員会の4者で連携し生徒個々の学習能力を把握した上で生徒にあった学習メニューの立案など検討し学力向上に取り組む。 また、参加児童を増やすためにも、PR活動に積極的に取り組む。		

資金の流れ （資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）														
<table><tr><th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr><tr><td>37,306</td><td>34,703</td><td>27,762</td><td>6,941</td><td>2,603</td></tr></table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	37,306	34,703	27,762	6,941	2,603
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
37,306	34,703	27,762	6,941	2,603										
伊是名村 交付対象事業費 37,306千円 給料 10,628千円 職員手当等 4,269千円 共済費 2,951千円 委託料 19,458千円 学習支援員 10,628千円 学習支援員 4,269千円 学習支援員 2,951千円 (一社)教育振興会 19,458千円 学習支援員給料(4名) (交付対象外経費:1,765千円) 期末手当(4名) (交付対象外経費:357千円) 共済費・社会保険料(4名) (交付対象外経費:479千円) 学習支援事業委託業務 学習塾開講(尚円チャレンジ塾・まちがに塾)														
資金の 使途の 流れ、 点検、 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先については村の例規に則って選定しており、妥当であった。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模についてもほぼ見込みどおり執行し、適正である。											
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・使途については、事業目的達成の観点から必要な経費となっており、毎月の報告書等により確認、適正と考える。											
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名		伊是名村							
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】									
事業番号・事業名		4-①	伊是名村土づくり支援事業		新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所		第4章－3－(7)－7		
担当部課名		農林水産課	事業実施 (予定)年度	平成24～令和13年度	沖縄振興基本方針 該当箇所		ハ 農林水産業の振興に資する 事業等		
事業内容		安定的な有機堆肥の供給による土づくりの促進及び、農作物の生産性の向上を図るため、沖縄本島からの堆肥購入費用及び輸送費用を支援する。							
効果発現年度		■当年度 □後年度(年度)							
実施方法		□直接実施 □委託 ■補助 □負担 □その他 ()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」＋ 「市町村負担」 ベース)				R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
		予算 の 状 況	(a) 当初予算額	36,940	37,070	35,640	37,600	40,760	
			(b) 予算現額	35,640	35,880	35,640	36,720	40,540	
			(c) 増減額 (b-a)	▲ 1,300	▲ 1,190	0	▲ 880	▲ 220	
			(d) 繰越額	0	0	0	0	0	
			A. 計 (b+d)	35,640	35,880	35,640	36,720	40,540	
		B. 執行済額		35,640	35,860	35,640	36,720	40,540	
		うち交付金充当額		28,512	28,688	28,512	29,376	32,432	
		次年度繰越額		0	0	0	0	0	
		執行率 (%) (B/A)		100.0%	99.9%	100.0%	100.0%	100.0%	
予算の状況の説明		・予算については、計画どおり執行でき適正であった。							
活動目標 (指標) 及び達成状況		R6活動目標(指標)		達成状況					
				R3年度	R4年度	R5年度	R6年度		
		堆肥導入数量:2,000t	目 標	(2,000t)	(2,000t)	(2,000t)	(2,000t)		
			実 績	2,000t	2,000t	2,000t	2,000t		
			目 標	()	()	()	()		
			実 績						
達成 状況 説明	・達成状況について、計画どおり執行し、適正であった。								
成果目標 (指標) 及び進捗状況		R6成果目標(指標)			基準値 (年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値 (年度)
		さとうきび反収:5,500kg	目 標	()	(6,600kg)	(6,600kg)	(5,500kg)	()	
			実 績		5,627kg	4,840kg	5,764kg		
		【参考指標】	目 標	()	()	()	()	()	
			実 績						
		進 捗 状 況 説 明	・堆肥の推進、散布後の適期肥培管理の周知に取り組むことで目標を達成したと考える。						

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・堆肥の推進及び散布後の肥培管理の周知に取り組んだことにより、地力の向上が図られた。	・継続して堆肥の推進及び肥培管理の周知取り組む。
今後の取り組み方針		
・関係機関が継続して堆肥の推進に取り組むことで散布面積の拡大を図り、生産量の増加に繋げる。		

資金の流れ （資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）														
<table><tr><th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr><tr><td>40,540</td><td>40,540</td><td>32,432</td><td>8,108</td><td>0</td></tr></table> 伊是名村 交付対象事業費 40,540千円 補助金 40,540千円 伊是名村さとうきび糖業振興会 40,540千円 堆肥購入に係る補助及び輸送運搬に係る経費の補助					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	40,540	40,540	32,432	8,108	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
40,540	40,540	32,432	8,108	0										
資金の 使途の 流れ、 点検、 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○要綱に適合する事業者への支出となっていることから妥当である。 ○予算規模は必要量と供給量の比較により妥当である。 ○堆肥の散布費用を受益者が負担しているため、妥当である。 ○費目・使途については支出等に関する書類により確認し適正であると考える。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	伊是名村							
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	4-②	農地の地力強化推進事業		新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章－3－(7)－ア			
担当部課名	農林水産課	事業実施 (予定)年度	令和4～令和8年度		沖縄振興基本方針 該当箇所	ハ 農林水産業の振興に資する 事業等		
事業内容	資源循環による環境負荷の低減を図るため、浚渫土砂から礫を取り除き、農地へ作土として供給することで地力強化を推進する。							
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)							
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他 ()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」＋ 「市町村負担」 ベース)			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額			29,899	10,172	3,764	
		(b) 予算現額			22,038	304	1,672	
		(c) 増減額 (b-a)	0	0	▲ 7,861	▲ 9,868	▲ 2,092	
		(d) 繰越額			0	0	0	
		A. 計 (b+d)	0	0	22,038	304	1,672	
	B. 執行済額				21,717	273	1,380	
	うち交付金充当額				17,772	218	1,104	
	次年度繰越額				0	0	0	
	執行率 (%) (B/A)		#DIV/0!	#DIV/0!	98.5%	89.8%	82.5%	
予算の状況の説明		リース車両の確保に時間を要したため、減額を行った。						
活動目標 (指標) 及び達成状況	R6活動目標(指標)			達成状況				
				R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	除礫処理料: 7,450m³	目 標	()	()	(7,450m³)	(7,450m³)		
		実 績			872m³	1,775m³		
		目 標	()	()	()	()		
		実 績						
	達成状況説明	10月からの作業開始となったため、活動目標は未達成となった。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R6成果目標(指標)			基準値 (年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値 (年度)
	作土製造量 13,410t	目 標	()	()	(13,410t)	(13,410t)	()	
		実 績			1,504.56t	1,510t		
		目 標	()	()	()	()	()	
		実 績						
	進捗状況説明	4月から作業開始予定であったが、作業員の確保に時間を要し10月からの作業開始となったため目標が未達成となった。						

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	当初、現業職の会計任用職員が除礫作業と別の業務を併用する予定であったが、業務の併用ができなかったため、除礫作業員を新たに雇用する必要が生じた。作業員の確保に時間を要したことから目標未達成となったと考える。	行政放送等を活用した求人募集を行うことで作業員の早期確保を図る。
今後の取り組み方針		
作業員の早期確保及び作業スケジュールの見直しを行う。		

資金の流れ （資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）														
<table><tr><th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr><tr><td>1,380</td><td>1,380</td><td>1,104</td><td>276</td><td>0</td></tr></table> 伊是名村 交付対象事業費 1,380千円 需用費 292千円 ⇒ 消耗品費（16千円） 燃料費（276千円） 使用料 1,088千円 ⇒ ダンプレンタル料（1,088千円）					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	1,380	1,380	1,104	276	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
1,380	1,380	1,104	276	0										
資金の 使途の 流れ、 点検、 評価・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先は本事業の必要経費であり妥当である。 ○予算規模においては不用額等を想定し事業内容に見合った規模に変更し適正に対応した。 ○費目・使途は事業に必要な最小限額である。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名		伊是名村							
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】									
事業番号・事業名		6-①	伊是名村公営墓地整備事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第6章－3－(1)－イ		
担当部課名		建設環境課		事業実施(予定)年度	令和6～令和7年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－9－(2)		
事業内容		近年墓地の継承者問題等による村外転出を抑えるため公営墓地を整備し、解決に努める。							
効果発現年度		☐ 当年度 ☒ 後年度(8年度)							
実施方法		☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()							
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」＋「市町村負担」ベース)				R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
		予算の状況	(a) 当初予算額					10,000	
			(b) 予算現額					10,000	
			(c) 増減額(b-a)	0	0	0	0	0	
			(d) 繰越額					0	
			A. 計(b+d)	0	0	0	0	10,000	
		B. 執行済額						9,790	
		うち交付金充当額						7,832	
		次年度繰越額						0	
		執行率(%) (B/A)		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	97.9%	
予算の状況の説明		当初予算額から入札残外は執行できたため、問題なく予算執行ができた。							
活動目標(指標)及び達成状況		R6活動目標(指標)		達成状況					
					R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
		墓地建設に係る基本調査・設計、実施調査・設計の実施。	目 標	()	()	()	(実施)		
			実 績				実施		
			目 標	()	()	()	()		
			実 績						
達成状況説明	用地測量～公営墓地整備にかかる実施設計まで当該年度にて実施する事が出来た。								
成果目標(指標)及び進捗状況		R6成果目標(指標)			基準値(年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値(年度)
		墓地建設に係る基本調査・設計、実施調査・設計の完了。	目 標	()	()	()	(完了)	()	
			実 績				完了		
		【参考指標】	目 標	()	()	()	()	()	
			実 績						
		進捗状況説明	用地測量～公営墓地整備にかかる実施設計まで当該年度内にて完了する事が出来た。						

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・公営墓地予定地にて窪地であることや周辺環境（土壌や畑など）を考慮しながら設計を進めていく必要がある。	・本年度完成した設計を基に擁壁や法面对策など盛り土にて敷地造成や排水計画を基に施工業者との調整を行う必要がある。 また、公営墓地予定地については一部民有地があり、実施設計や測量等を踏まえた上で用地交渉及び用地購入する必要がある。
今後の取り組み方針		
・公営墓地予定地が現在窪地であるため、施工業者と調整を行い早急な敷地造成に取り組む。 ・今回の用地測量等の結果を踏まえたくえで用地取得を実施する。 ・用地取得後実施設計に基づき公営墓地を整備する。 ・次年度公営墓地の整備にあたり公営墓地設置条例の整備を行う。		

資金の流れ （資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）														
<table><tr><th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr><tr><td>9,790</td><td>9,790</td><td>7,832</td><td>1,958</td><td>0</td></tr></table> 伊是名村 交付対象事業費 9,790千円 委託料 9,790千円 (有)パブリックコンサルタンツ 9,790千円 諸見地区墓地整備設計業務委託					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	9,790	9,790	7,832	1,958	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
9,790	9,790	7,832	1,958	0										
資金の 使途の 流れ、 点検、 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先の選定方法については指名競争入札にて実施したため妥当であるとする。 ○予算規模について、事業内容に見合った適切な規模であったとする。 ○費目・使途目的についても、支出調書書類により確認を行い適切であった。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												